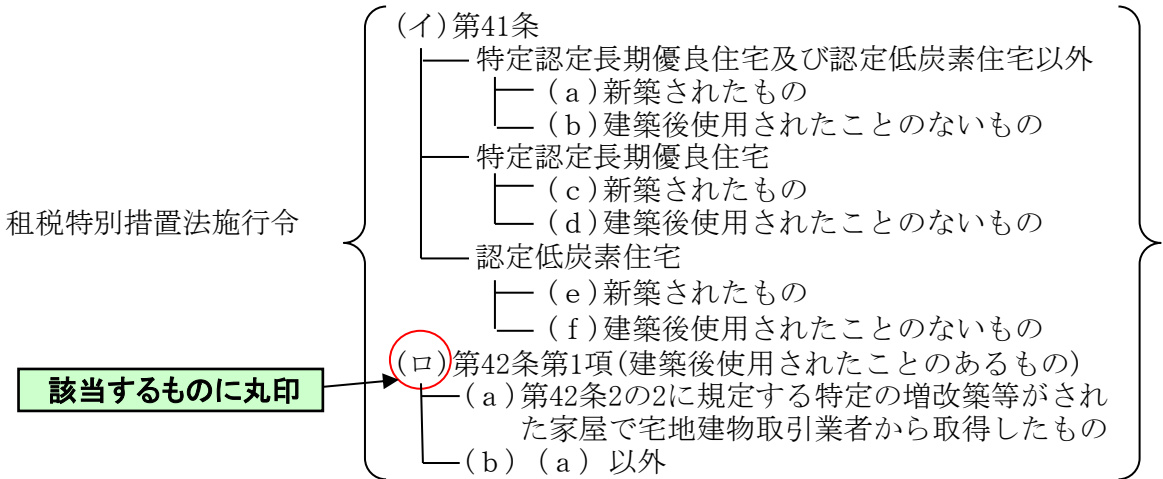


### 3 建築後使用されたことのある住宅(中古住宅)の記入方法

#### 住宅用家屋証明申請書



の規定に基づき、下記の家屋がこの規定に該当するものである旨の証明の申請をします。

申請日を記入  
 令和 年 月 日

(宛先) 長野市長

申請者 住 所 申請者の住所、氏名の記入

氏 名 連名の場合は持分も記入

代理人 住 所 申請者から委任を受けた代理人

氏 名 の

所 在 地	登記事項証明書の「所在」を記入してください。
建 築 年 月 日	登記事項証明書の「新築日」を記入してください。
取 得 年 月 日	売渡証書等の譲渡日を記入してください。
取 得 の 原 因 (移転登記の場合に記入)	(1) 売買 (2) 競落 該当するものに○をしてください。
申 請 者 の 居 住	(1) 入居済 (2) 入居予定 申請日現在で該当するものに○をしてください。
床 面 積	登記事項証明書の「床面積」を記入してください。
構 造	表示登記申請書の「構造」を記入してください。
区分建物の耐火性能	(1) 耐火又は準耐火 (2) 低層集合住宅 区分建物(マンション等)の場合はどちらかに○してください。
工 事 費 の 総 額 (ロ)(a) の 場 合 記 入)	円 (ロ)(a)の場合記入)
売 買 価 格 (ロ)(a) の 場 合 記 入)	円 (ロ)(a)の場合記入)

**※ご注意いただくこと**  
 申請書に誤記又は記入漏れがないかよくご確認ください。  
 申請書の訂正は、申請者ご本人又は申請者の委任を受けた代理人以外できません。  
 申請書及び必要書類に不備や不足がある場合、証明書の発行はできません。